

平成30年度「生徒からの授業評価」について

今年も、全ての授業において「生徒からの授業評価」を実施しました。
 評価者である生徒一人一人と教員とのコミュニケーションを大切にするため、記名式で実施しています。概要及び集計結果は、以下のとおりです。

1 実施日 平成30年10月15日（月）～11月2日（金）

2 生徒数及び回答者総数 生徒数：831名、回答者総数：9,892名

3 集計結果及び分析

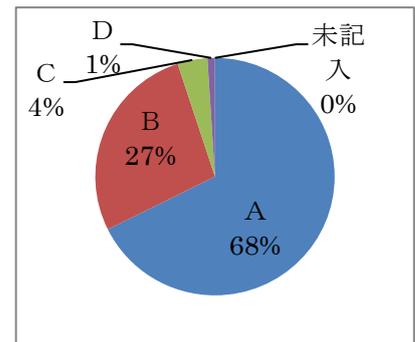
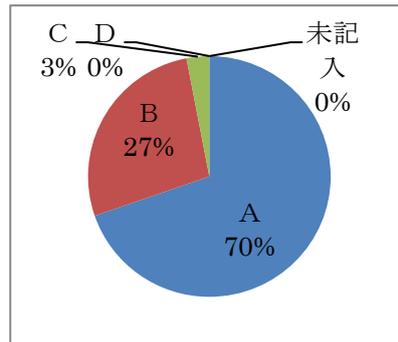
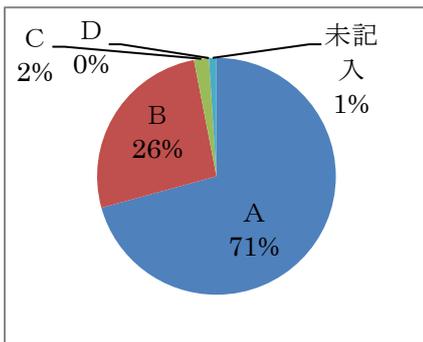
(A：あてはまる B：だいたいあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない)

(1) 教師について

① 授業内容（難易度）は適切である。

② 授業の進む速さは適切である。

③ 教科、科目についての興味・関心を呼び起こす授業である。

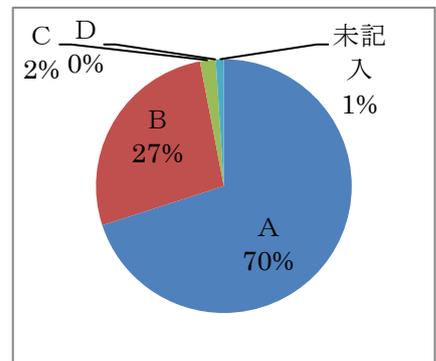
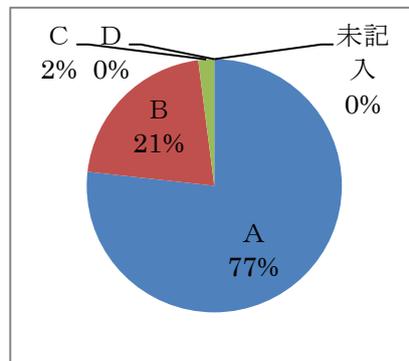
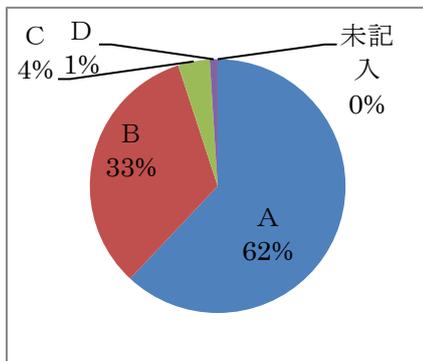


④ 生徒に発言・発表の機会を適切に与えている。

⑤ 先生の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

⑥ (座学中心の教科) 板書や視聴覚機器の使い方が適切で効果的である。

(実技・実習中心の教科) 実技・実習の場合、デモンストレーションが適切で効果的である。



(2) 生徒自身について

⑦ 授業に集中し、意欲を持って取り組んでいる。

⑧ 授業内容について、予習（準備）・復習はできている。

(3) 分析

教師について問う①～⑥の項目では、A、B合わせた評価がほとんどの項目で95%を超えており高評価を得ている。ただし、項目③「教科、科目についての興味・関心を呼び起こす授業である」のAが62%、項目⑦「授業に集中し、意欲を持って取り組んでいる」のAが61%にとどまっていることから、生徒の主体性を促すよう一層授業改善に取り組む必要がある。また、多くの生徒が、予習・復習で課題があると考えている。引き続き自発的な学習を促したい。

